

中期経営プランに基づく令和3年度計画の上半期実施状況について

「中期経営プラン（2018-2022）」に掲げる事業について、令和3年度上半期までの実施状況を御報告いたします。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等の影響により、一部の事業において実施が制限されましたが、その他の事業は概ね順調に進捗しています。

1 主な事業の実施状況（取組項目の全体については資料5—2御参照）



視点① 京の水をみらいへつなぐ

令和3年度の主要事業	実施状況（主な内容）
方針①つくる－取組③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化 浄水場の基幹施設（配水池等）について、引き続き改築更新・地震対策を進めます。 令和3年度は、松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事、新山科浄水場導水トンネル築造工事等を継続するとともに、新山科浄水場低区3・4号配水池耐震化工事に着手します。	取組③内「新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化」 ○新山科浄水場導水トンネル築造工事実施（事業年度：2017～2027年度） → シールド工事※ ¹ を実施中。 取組③内「基幹施設の改築更新・耐震化」 ○松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事実施（事業年度：2017～2021年度） → 2号池の築造工事が概ね完了し、配水池の湛水試験※ ² を行った。
方針②はこぶ－取組② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化 老朽化した水道管路の更新を継続（約57km、更新率1.5％）し、更新時には、耐震性・耐久性に優れる管材料を使用することで耐震化を図ります。 また、給水のバックアップ機能を強化するため、隣接する給水区域間をつなぐ連絡幹線配水管の布設を引き続き実施します。	取組②内「地震等災害時における給水のバックアップ機能強化」 ○低区御池連絡幹線配水管布設工事実施（事業年度2014～2022年度）他 → 地震等の災害に備えるための連絡幹線配水管布設工事を進めている。各工事とも工期内の完成に向けて事業を推進している。

※1 トンネルの先端にシールドと呼ばれる鋼鉄製の外筒を設けて、崩壊しようとする土を押さえつつ掘削を行い、内部でセグメントと呼ばれるブロックをリング状に組み立てていく工法

※2 配水池工事の完了後に実施する試験で、水密性を確かめるために、実際に水を張って水漏れなどが起こらないかを確認する。試験は概ね2箇月程度行う。

なお、本施設は試験を完了し、12月1日から運用を開始している。



視点① 京の水をみらいへつなぐ

令和3年度の主要事業	実施状況（主な内容）
方針③きれいにする一取組② 水環境保全センター施設の再構築 水環境保全センターの主要な施設について、引き続き改築更新を進めます。 令和3年度は、鳥羽水環境保全センター消毒施設改築更新工事、流動炉延命化工事及び伏見水環境保全センター分流系最初ちんでん池改築更新工事を継続します。	取組②内「水環境保全センター施設の改築更新・耐震化」 ○鳥羽水環境保全センター消毒施設築造工事实施（事業年度：2020～2024年度） → 既設構造物を撤去して、立坑を掘削中。
方針④まもる一取組① 「公助」による災害に強い施設整備や危機管理体制の強化 災害時に飲料水を確保するため、給水車や仮設給水槽を拡充し、応急給水体制を充実させるとともに、災害用マンホールトイレの整備を引き続き実施するなど、防災・減災のための装備等を強化します。 また、「南北2箇所の事業・防災拠点」の実現に向けて、令和3年度は、新庁舎の建設工事を進めます。	取組①内「事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化」 ○市内南部エリアを所管する事業・防災拠点の整備に係る基本設計・実施設計の実施、建設工事着手 → 令和4年度の開庁に向けて建設工事を予定どおり進めており、順調に進捗している。
方針④まもる一取組③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進 「雨に強いまちづくり」を推進し、大雨の時に雨水を取り込む雨水幹線等の整備を引き続き進めます。 令和3年度は、市内中心部における広範囲の浸水安全度を向上させるための鳥羽第3導水きょ（令和9年度完成予定）や、烏丸丸太町周辺地区の浸水対策としての烏丸丸太町幹線（令和6年度完成予定）の整備を継続して実施します。	取組③内「施設整備による浸水対策の推進」 ○鳥羽第3導水きょ工事实施（事業年度：2020～2027年度）他 → 市内中心部の浸水に対する安全度を向上させるため、鳥羽第3導水きょ等の雨水幹線の整備を進めている。各工事ともシールド立坑を工事中。
方針⑤いどむ一取組② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの推進 未来の上下水道につながる調査・研究については、水道料金・下水道使用料の大幅な減収を踏まえ、規模を縮小しつつも、継続して取組を進めます。また、広域化・広域連携に関する取組についても、引き続き、府域最大の事業者として、京都府及び関係自治体と意見交換を行いながら検討を進めます。	取組②内「府内各事業者との情報交換や技術支援、危機管理体制に係る検討」 ○人事交流の実施 → 府内市町村との人事交流の一環として、長岡京市から当局水質管理センターに短期研修職員の受入れを実施した。 ○水質検査等の受託に係る検討 → 広域連携に資する取組として、水道水の異物検査の実施に向けた府内市町村への意向調査や事務手続きの検討を進めた。



視点② 京の水でころをはぐくむ

令和3年度の主要事業	実施状況（主な内容）
方針①こたえる一取組③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進 市民の皆さまに水道・下水道をより身近に感じ、理解を深めていただくための広報を展開するとともに、水需要の喚起に向け、お風呂の利用促進やミスト、水飲みスポットの設置等を通じて、水道水を使った健やかで環境にも優しいライフスタイルを発信します。 実施にあたっては、コロナ禍や厳しい財政状況を鑑み、動画等の効果的な発信方法を検討します。	取組③内「戦略的な広報活動の推進」 ○戦略的な広報計画の策定及び取組の充実他 → 人気アニメキャラクター「紙兎ロペ」とコラボレーションした夏のお風呂入浴PR動画を配信するなど、訴求力のある広報に取り組んでいる。
方針②ゆたかにする一取組② 創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献 方針②ゆたかにする一取組③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献 浄水場及び水環境保全センターに設置している大規模太陽光発電設備により、再生可能エネルギーの継続的な利用を図ります。 また、鳥羽水環境保全センター下水汚泥固形燃料化施設を稼働させ、下水汚泥の有効利用を促進してまいります。	取組③内「下水汚泥処理施設の再構築」 ○固形燃料の有効活用 → 令和2年度末に完成した鳥羽水環境保全センター固形燃料化施設において、下水汚泥から固形燃料を生成し、汚泥の有効利用を行っている。



視点③ 京の水をささえつづける

令和３年度の主要事業	実施状況（主な内容）
方針①になうー取組① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上 水道技術研修施設（太秦庁舎敷地内）及び令和２年１１月に完成した下水道技術研修施設（鳥羽水環境保全センター敷地内）において、水道・下水道の技術継承と担い手の育成を図ります。 下水道技術研修施設は、下水道管路や処理場等の設備の一部をモデル化して再現し、土木、機械、電気の各分野について、現場を想定した実技研修を行うことができる施設としています。	取組①内「技術力の向上・技術継承の推進とチャレンジ精神あふれる職員の育成」 ○水道技術研修施設の運用 他 → 水道技術研修施設に加え、昨年度に完成した下水道技術研修施設の運用を通じ、職員の技術力向上を図る取組を進めている。
方針②ささえるー取組③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化 財務体質の更なる強化に向けて、保有資産の有効活用を進めます。 令和３年度は、引き続き、山ノ内浄水場跡地等の貸付を実施します。	取組③内「保有資産の有効活用をはじめとした増収策の検討・実施」 ○保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進 他 → 空き施設や保有資産の売却等に向け、境界確定等の準備を行った。また、「水道使用水量のお知らせ」裏面への広告掲載やホームページバナー広告を実施した。

２ 実施状況の公表

資料５－２「京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）令和３年度計画上半期実施状況」については、局ホームページで公表する予定です。

京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）

令和3年度計画

《上半期実施状況》



京都市上下水道局マスコットキャラクター
ホタルの澄都（すみと）くん， ひかりちゃん

令和3年12月

京都市上下水道局

【目次】令和3年度計画の取組項目一覧

3つの視点	9つの方針	30の取組項目	頁
視点① 京の水をみらいへつなぐ	① つくる 水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります	① 水源から蛇口までの水質管理の徹底 ② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進 ③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	2 2 2
	② はこぶ 老朽化した管路の更新と耐震化を進め、水道水を安定してお届けし、下水を確実に集めます	① 配水管等の適切な維持管理の推進 ② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化 ③ 安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上 ④ 下水道管路の適切な維持管理の推進 ⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化 ⑥ 適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨	3 3 3 3 4 4
	③ きれいにする 下水をきれいにして川へ返し、市内河川や下流域の水環境を保全します	① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上 ② 水環境保全センター施設の再構築 ③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	4 4 4
	④ まもる 市民の皆さまとともに、地震や大雨などの災害から、まちとくらしを守ります	① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化 ② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化 ③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	5 5 5
	⑤ いどむ 新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます	① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究 ② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮 ③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	6 6 6
視点② 京の水でこころをはぐくむ	① こたえる 分かりやすく伝え、しっかりと声を受け止め、市民の皆さまの期待に応え続けます	① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化 ② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開 ③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	7 7 8
	② ゆたかにする 琵琶湖疏水の魅力を高め、地球環境にやさしい事業運営により、まちやこころをゆたかにします	① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献 ② 創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献 ③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	8 9 9
視点③ 京の水をささえつづける	① になう これまで培ってきた技術をしっかりと継承し、京の水の担い手を育て、きずなを強めます	① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上 ② 京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携	10 10
	② ささえる 50年後、100年後を見据えた経営を行い、将来にわたって京の水を支え続けます	① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減 ② 業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化 ③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化 ④ 継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	11 11 12 12

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	水源から蛇口までの水質管理の徹底	水質監視の強化	○原水及び配水自動監視装置による24時間連続監視の実施 ・水道部施設課による工事「水質自動監視装置設置工事(その4)」が5月末で完了 現在、既設から改造された中央監視システムについて、各種機能の調整を実施 ・原水水質監視装置及び配水水質監視装置で、水質の24時間連続監視を実施	技術監理室水質第1課
		水質検査の徹底	○令和3年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○令和4年度水道水質検査計画の策定 ・水質検査計画に基づき原水及び水道水の検査を実施 ・令和4年度水道水質検査計画の策定	技術監理室水質第1課
		水道GLPの認証に基づく精度の高い水質検査の実施 ○水道GLPの認証に係る中間審査	・水道GLPに基づき、手順書の見直し、精度の高い検査を実施 ・GLPサーベイランス審査の実施	技術監理室水質第1課
		水安全計画の継続的な運用	○水安全計画の運用、見直し ・水安全計画に基づく水質管理を実施、適正に運用	水道部管理課
②	原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進	最適な浄水処理の推進	○3浄水場(蹴上、松ヶ崎、新山科)において、既存注入設備による高機能な粉末活性炭の注入を実施 ・5月に水道原水で高濃度のかび臭原因物質(2-MIB)が発生した際に、高機能粉末活性炭を注入して浄水処理を行った結果、水質基準値を超過せずに給水することができた。	技術監理室水質第1課 水道部施設課
		高機能な粉末活性炭注入設備設置に係る実施設計着手(事業年度:2020～2022)	・実施設計及び詳細調査中。	水道部管理課
		施設の機能を維持するための適切な維持管理 ○施設に関する基本情報データベースの運用開始	・データベース化された台帳をネットワークHDDで共有化し、適切に運用している。 ・施設データを水道施設台帳管理システムに登録するためのデータ整理を実施	水道部管理課
③	安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化	○新山科浄水場導水トンネル築造工事実施(事業年度:2017～2027年度) ・シールド工事実施中。	水道部施設課
		○新山科浄水場2系ちんでん池改良工事完了(事業年度:2019～2021年度)	・機械・電気工事については、機器設置を完了し、実負荷試験準備中。 ・傾斜板工事及び建築設備工事については施工中。	水道部施設課
		○蹴上浄水場高区3号配水池耐震化工事完了(事業年度:2020～2021年度)	・工事完了	水道部施設課
		基幹施設の改築更新・耐震化 ○松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事完了(事業年度:2017～2021年度)	・2号池築造工は概ね完了。 ・配水池内湛水試験中	水道部施設課
		○新山科浄水場低区3・4号配水池耐震化工事着手(事業年度:2021～2022年度)	・現地着手に向けて準備中	水道部施設課
		○松ヶ崎浄水場中央監視制御設備更新工事完了(事業年度:2019～2021年度)	・本体工事について、新システム切替中。 準備工事(その1～その4)については、本体工事の進行に併せて新システムへ切替中。	水道部施設課

方針② はこぶ

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	配水管等の適切な維持管理の推進	漏水調査や配水管洗浄の継続的な推進	○漏水調査の実施 3,000km	・上半期実施予定分すべてを実施	水道部水道管路課
			○配水管の洗浄作業(「京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト」)の実施	・第2四半期は、北部エリアで1回(右京区)、南部エリアで2回(伏見区、東山区)実施	水道部水道管路管理センター
②	安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化	配水管の更新・耐震化の推進	○老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 57km ・配水管更新・耐震化工事実施 32km ・補助配水管更新・耐震化工事実施 25km ・老朽配水管の解消率 42.1%(2021年度末)	・配水管(補助配水管含む)更新・耐震化工事実施中(発注延長の割合68%,9月末)	水道部水道管路課
		地震等災害時における給水のバックアップ機能強化	○低区御池連絡幹線配水管 布設工事実施(事業年度:2014～2022年度)	・(その6)工事を実施中 ・(その7-1)工事を実施中 ・(その7-2)工事は設計中	水道部水道管路課
			○高区花園連絡幹線配水管 布設工事実施(事業年度:2014～2022年度)	・(その6)工事は、檜原(その3)工事に含めて設計中。第3四半期に発注予定	水道部水道管路課
			○高区岡崎連絡幹線配水管 布設工事実施(事業年度:2019～2023年度)	・(その1)工事を実施中 ・(その2)工事設計中	水道部水道管路課
③	安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上	受水槽の適正な維持管理の啓発と直結式給水のPR	○貯水槽水道の設置者への啓発・助言 ・戸別訪問の実施 ・貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供の実施	・管理状況調査を実施(調査にて貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供を実施)	水道部水道管路課
		指定給水装置工事事業者への適切な指導	○直結式給水のPR ・局ホームページへの直結式給水に関する情報の掲載 ・貯水槽水道設置者への戸別訪問の実施による直結式給水への切替えに関する情報提供及びPR強化	・直結式給水に関する情報を局ホームページに掲載 ・貯水槽水道設置者への戸別訪問実施時に、直結式給水への切替えに関する情報を提供	水道部水道管路課
			○全事業者を対象とした研修の実施	・新型コロナ感染拡大防止のため、対面での開催を中止し、書面研修を実施予定	水道部水道管路課
			○新規事業者を対象とした説明会の実施	・新規指定給水装置工事事業者説明会を開催(9月)	水道部水道管路課
			○事業者への指導の継続実施(文書通知等)	・更新手続きの受付終了	水道部水道管路課
宅地内における鉛製給水管取替助成金制度の継続	○助成金制度の継続実施	・平成30年度に拡充した助成金制度の利用促進のため、局ホームページへの掲載等を継続して実施	水道部水道管路課		
④	下水道管路の適切な維持管理の推進	計画的な維持管理の推進	○下水道管路の計画的な巡視や点検を実施	・市内全域で計画的な巡視点検を実施中	下水道部管理課
			○腐食のおそれ大きい箇所点検調査 3.3km	・該当箇所の点検を実施中	下水道部管理課

			○修繕履歴等を含めた管路情報のデータベース化	・管路の維持管理の際に収集した修繕情報等を随時データベース化実施中	下水道部管理課
⑤	優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化	計画的な管路内調査及び改築更新・耐震化の推進	○下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km	・管路内調査委託準備中 ・管路リニューアル工事実施中 ・管路地震対策工事実施中	下水道部設計課
⑥	適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨	未水洗家屋の解消に向けた水洗化勧奨の推進	○全戸訪問による水洗化勧奨の実施	・文書投函及び電話による勧奨を実施中	下水道部管理課
		工場・事業場排水の監視及び指導	○事業場への立入りによる監視及び指導の実施 ・監視及び指導のための立入検査回数 1,200回以上	・9月末時点の立入検査回数 509回	下水道部施設課

方針③ きれいにする

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上	適切な維持管理の実施	○点検整備計画に基づく施設の定期整備の実施	・今年度予定の定期整備の実施に向けて、設計中	下水道部施設課
			○基本情報や修繕履歴等のデータベース化	・水環境保全センターの機械電気設備について、修繕履歴の情報を整理	下水道部施設課、計画課
		良好な処理水質の維持・向上	○水質管理計画の見直し・継続運用	・目標水質を達成するため、水質管理計画に基づく水質管理を実施。	技術監理室水質第2課
			○効果的・効率的な運転管理に関する調査・研究の実施 ・処理コスト削減と水質維持の両立	・水環境保全センターの運転管理や水質分析に関する調査・研究を継続して実施。	技術監理室水質第2課 下水道部施設課
②	水環境保全センター施設の再構築	水環境保全センター施設の改築更新・耐震化	○伏見水環境保全センター分流系最初沈殿池築造工事実施 (事業年度:2019～2022年度)	・伏見水環境保全センター分流系最初沈殿池築造工事実施中	下水道部下水道建設事務所、設計課
			○鳥羽水環境保全センター消毒施設築造工事実施 (事業年度:2020～2024年度)	・鳥羽水環境保全センター消毒施設築造工事実施中	下水道部下水道建設事務所、設計課
		施設規模の適正化に向けた取組の推進	○鳥羽水環境保全センター吉祥院支所汚水切替工事実施 (事業年度:2020年度～順次実施)	・鳥羽第1導水きょ接続支線(1)工事発注準備	下水道部下水道建設事務所、設計課
③	健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	貯留管による合流式下水道の改善対策	○津知橋幹線等工事実施 (事業年度:2016～2021年度)	・津知橋幹線工事実施中 ・津知橋北幹線工事実施中	下水道部下水道建設事務所、設計課
		水環境保全センターにおける合流式下水道の改善対策	○鳥羽水環境保全センター雨水滞水池工事実施 (事業年度:2020～2022年度)	・鳥羽水環境保全センター雨水滞水池工事実施中	下水道部下水道建設事務所、設計課
			○鳥羽水環境保全センター吉祥院支所雨水滞水池工事実施 (事業年度:2020～2022年度)	・鳥羽水環境保全センター吉祥院支所雨水滞水池工事実施中	下水道部下水道建設事務所、設計課

方針④ まもる

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	「公助」による災害に強い施設整備や危機管理体制の強化	事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化	○市内南部エリアを所管する事業・防災拠点に係る建設工事の着実な遂行	・建設工事を予定どおり進めている。	総務部総務課
			○BCPや各種マニュアルの点検・修正, 防災装備の充実(2拠点化を踏まえた危機管理体制及びBCPや各種マニュアルの検討)	・業務継続計画の改訂 ・京都市上下水道局震災対策計画の改訂作業(改訂方針案の作成) ・京都市上下水道局他都市応援受入マニュアルの改訂作業(改訂方針案の作成)	総務部総務課
		施設整備の強化	○仮設給水槽配備の推進	・仮設給水槽の購入及び山間地域への配備 ・防災危機管理研修の実施	総務部総務課
			○松ヶ崎浄水場における浸水対策工事完了(事業年度:2020~2021年度)	・止水壁工事は概ね完了。(今後は, 防水扉等の建築工事を実施予定。)	水道部施設課
			○マンホールトイレの継続的な整備 ・避難所となる小中学校等への整備を実施	・管路地震対策(64)(65)(66)(67)工事実施中	下水道部設計課
②	「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化	危機管理対策の積極的な広報等による市民の防災意識の向上	○防災情報を整理したパンフレットの作成及び啓発	・各種イベントでパンフレットの配布・啓発を実施 みんなのコンサート(100部*6箇所=600部) プレイ!シアター in summer 2021(300部) 京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート(300部)	総務部総務課
			○災害用備蓄飲料水を活用した飲料水備蓄の普及啓発 ・市民しんぶんへの掲載等による普及啓発	・市民しんぶん区版(7/15号)による普及啓発 ・事業PRリーフレット「京の水だよりmini vol.10(6月・7月)」に防災特集として「京のかがやき 疏水物語」の記事を掲載し, 啓発を実施。 ・各種イベントで疏水物語の無償配布・啓発を実施 みんなのコンサート(2,184本(91ケース)) プレイ!シアター in summer 2021(1,008本(42ケース)) 京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート(1,200本(50ケース))	総務部総務課
		防災訓練の充実による連携体制の強化	○京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施	・京都府支部合同防災訓練(八幡市)の実施に向けた京都府支部内の調整(11/11予定) ・関西地方支部防災訓練(和歌山市)の実施に向けた関西地方支部との調整(11/18予定)	総務部総務課
			○防災拠点の2拠点化を踏まえた, 当局における実践的な防災訓練の実施	・テレビ会議システム拡張機能の通信テスト実施 ・衛星携帯電話の運用開始 ・各種訓練の実施(総務部情報伝達訓練, 初動措置訓練)	総務部総務課
③	「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	施設整備による浸水対策の推進(鳥羽第3導水きょをはじめとした施設整備)	○鳥羽第3導水きょ工事实施(事業年度:2020~2027年度)	・鳥羽第3導水きょ工事实施中	下水道部設計課
			○烏丸丸太町幹線工事实施(事業年度:2020~2024年度)	・烏丸丸太町幹線工事实施中	下水道部設計課
			○伏見水環境保全センター 雨水滞水池築造工事实施(事業年度:2020~2024年度)	・伏見水環境保全センター雨水滞水池築造工事实施中	下水道部設計課
		浸水被害軽減に向けた細やかな対策	○雨水貯留施設及び雨水浸透ますの普及促進(設置助成金制度) ・雨水貯留施設 目標120基 ・雨水浸透ます 目標240基	・雨水貯留施設 87基 ・雨水浸透ます 84基 (令和3年9月28日時点)	下水道部管理課
			○関係局区が連携した雨に強いまちづくりの取組の推進 ・地区別や課題に応じた検討会の開催等	・令和3年度第1回京都市「雨に強いまちづくり」推進本部会議を開催 ・各地区で, 地区別検討会を実施	下水道部管理課, 計画課

方針⑤ いどむ

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	常に発展し続けるための新技術の調査・研究	新技術に係る調査・研究の実施	・モービルマッピングシステムを活用したトンネル点検等の効率化に向けた検討について、下半期での実施に向け準備を行った。 ・中大口径管を対象とした管渠内調査手法について、実証実験の対象とする調査手法を抽出し、9月末に現地試験を行った。	技術監理室監理課 下水道部計画課
		外部機関との共同研究の実施	・3件の共同研究を実施（今年度からの新規案件1件、前年度からの継続案件2件）	技術監理室監理課 水質第1課
		研究成果等の外部への発信	・発表実施件数（技術分野） 水道協会雑誌投稿（1件） 日本水環境学会誌投稿（1件） 全国下水道研究発表会（7件）	技術監理室監理課 水質第1課、水質第2課
②	広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮	広域化・広域連携の在り方の検討	・京都府主催の協議会等への参加を通じた府及び近隣自治体との連携 ・広域化・広域連携に係る局内ワーキングの実施	経営戦略室
		府内各事業体との情報交換や技術支援、危機管理体制に係る検討	・情報交換及び共同研修の実施 ・京都府主催の協議会等への参画 ・日水協京都府支部における研修等の実施 ・水道技術研修施設の活用	総務部総務課、経営戦略室
		人事交流の実施	・長岡京市との人事交流として、短期研修を実施（8/10～8/18）	総務部職員課
		水質検査等の受託に係る検討	・受託費用及び受付フローについて、局内調整中。 ・周知用パンフレットを作成中。	技術監理室水質第1課
		新たな危機管理体制の運用	・京都府支部合同防災訓練（八幡市）の実施に向けた京都府支部内の調整（11/11予定）（「方針④ まもる」の②「京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施」再掲） ・名古屋市との技術交流会の実施内容の検討（随時）	総務部総務課
		流域関係者とのパートナーシップによる琵琶湖・淀川流域全体の水環境保全	・琵琶湖・淀川流域都市間の協議会等への参画 ・淀川水質汚濁防止連絡協議会や琵琶湖・淀川水質保全機構が実施する調査・研修・報告会への参加及び情報収集の実施 等	技術監理室水質第1課 水道部施設課 下水道部施設課、計画課
③	国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	国際協力事業の推進	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた国際協力事業の推進 ・オンラインでの開催を含めたJICA等を通じた海外からの研修・視察等の受入れ ・JICA等がオンライン等を活用して実施する研修・セミナー等への受講機会の設定	経営戦略室
		新たな可能性を追求するための調査・研究の推進	・他都市との情報交換や民間事業者との協議等の実施	経営戦略室

視点② 京の水でこころをはぐくむ

方針① こたえる

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化	営業所組織の再構築	○応急給水活動や地域の防災訓練への参加内容の充実 ・各種訓練の実施(営業所合同防災訓練, 応急給水槽訓練, IP無線機通信訓練) ・給水車操作・運転講習の実施 ・営業所合同防災訓練等会議の実施	総務部お客さまサービス推進室
		○鉛製給水管の解消に向けた周知及び下水道接続確認業務の実施	・日常業務における開栓等の受付時に鉛管が残存していることをお知らせし, 担当課から連絡する旨を伝えるとともに, 水道部と連携を図り鉛管解消に取り組んでいる。	総務部お客さまサービス推進室
		積極的なマーケティングリサーチの推進 ○大口使用者利用状況調査の充実 ○地下水等利用専用下水道使用者への訪問	・水道施設維持負担金制度は, 令和3年度計画水量を承認し, 対象者に通知した。 ・地下水等利用専用下水道使用者への訪問は, 新型コロナウイルスの状況を考慮して直接訪問は差控えたが, 電話による説明やヒアリングを継続して実施した。	総務部お客さまサービス推進室
		○民間賃貸マンションの各戸検針・各戸徴収サービスのPR	・民間マンションの各戸検針・各戸徴収サービス制度の周知を継続して実施	総務部お客さまサービス推進室
②	お客さまの声を反映した新たなサービスの展開	インターネット等を活用した新たなサービスの展開 ○使用水量等のインターネット閲覧サービスに係るPRの促進	・インターネット閲覧サービス「みずみるネット」について, HPでの継続したバナーの掲載をはじめ, 水道開栓時において, チラシを配付するなどして勧奨している。 ・また, 電話受付時においても, 必要に応じお客さまに勧奨している。	総務部お客さまサービス推進室
		○インターネットによるクレジットカード継続払い申込みサービスのPR	・HPでの継続したバナーの掲載をはじめ, 水道開栓時において, インターネットによるクレジットカード継続払いに係るチラシを配付するなどして勧奨している。 ・また, 電話受付時においても, 必要に応じお客さまに勧奨している。	総務部お客さまサービス推進室
		○納付書支払窓口の拡充に向けたシステム改修	・複数の支払い窓口から料金を収納する「収納代行サービス」の導入を12月から実施 ・これに向けてシステム改修等を行っている	総務部お客さまサービス推進室
		○新たな「積極的に行動するサービス」の実施	・「わくわくすいどうひろば」及び「京の水サロン」については, コロナウイルス感染防止の観点から, 上半期での開催を見送った。下半期での開催については, 「わくわくすいどうひろば」を4回, 「京の水サロン」を2回実施する予定。ただし, 緊急事態宣言が発令された場合は, その期間の開催については中止する。	総務部お客さまサービス推進室
	IoTの活用等も見据えたサービスの在り方の研究	○水道スマートメーターの導入に伴う効果等の研究及び試験的導入	・第1回水道スマートメータープロジェクト会議の開催 ・第3期A-Smartプロジェクトに参加 ・企業との協議及びセミナー参加	総務部お客さまサービス推進室 水道部水道管路課
		○新たなサービスの実施に向けた検討	・12月の収納代行サービス導入に向け, システム改修等を行っている ・「口座振替Web申込サービス」の導入を決定した	総務部総務課 総務部お客さまサービス推進室

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
③	京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	戦略的な広報計画の策定及び取組の充実 ・広報計画の策定(毎年度) ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進 ・子ども向けPRプログラム「わくわく すいどうひろば」の実施 ・知って安心 くらしと水道「京(みやこ)の水サロン」の実施 ・上下水道事業をPRする動画の制作	・「紙兎ロペ」とコラボレーションし、夏のお風呂入浴を推奨する動画を公開(7月30日～) ・ホームページによる情報発信(8月にコーナー設置) ・「京の水だよりmini Vol.11」に夏風呂特集を掲載(8月～9月検針時配布) ・フリーペーパー「Leaf mini京(まち)なか歩く(ぶっく)9月号」に夏風呂特集を掲載 ・「わくわく すいどうひろば」及び「京(みやこ)の水サロン」について、受入施設の募集を実施	総務部総務課
		戦略的な広報活動の推進 ・上下水道施設見学会等の開催 ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進(再掲) ・「水道水・雨水で花いっぱい！」の取組展開, 雨水貯留タンク等のPR ・「京の駅ミスト」及び「京のまちなかミスト」の実施 ・ミスト装置貸出の実施 ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進 ・上下水道事業をPRする動画の制作(再掲)	・TwitterやFacebook等の各SNSで「水道水・雨水で花いっぱい！」の取組をPR ・市内施設でのミスト装置稼働の実施 ・ミスト装置貸出の実施 ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進	総務部総務課
		事業運営のためのニーズ把握 ○「水に関する意識調査」(総合調査)の実施, 結果の分析	・令和3年度調査を実施中(実施期間は9月15日～10月15日)	経営戦略室
		事業運営のためのニーズ把握 ○各種イベント等で実施するアンケート及び上下水道モニター制度等による広聴活動の展開	・上下水道モニターについて、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、秋以降の開催を検討中	総務部総務課

方針② ゆたかにする

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
	琵琶湖疏水の魅力の更なる向上と情報発信	〇疏水路の維持管理・整備, 石積の補修 ・疏水路の維持管理・整備の実施(緑地維持管理, 土砂浚渫, 施設の点検整備等) ・石積整備工事の実施	・疏水路の維持管理・整備の実施中(緑地維持管理, 施設の点検整備)	水道部施設課
		〇琵琶湖疏水記念館を活用した情報発信 ・特別展等の実施	・琵琶湖疏水新聞コンテンツ優秀作品展開催(6月1日～10月3日※) ・特別展「琵琶湖疏水が支えた京都市電～水力発電が果たした役割」を開催(6月18日～9月26日※) ※ただし緊急事態宣言に伴い閉館していた8月20日～9月30日を除く	総務部総務課
		〇日本遺産・琵琶湖疏水を活用したフィールドミュージアムの整備	・ウォーキングマップ作成及び観光案内板等整備について、受託事業者と契約を締結した。併せて、対象エリアの現地調査を実施した。 ・日本遺産特設サイトについて多言語対応の充実及びフォトギャラリーの追加に向けた調整を実施 ・疏水関連資料調査に係る委託事業者を選定し契約を締結 ・魅力発信事業の実施及び疏水案内ガイド人材育成に係る委託事業者を選定し契約を締結 ・疏水案内ガイド育成に向けた企画及び調整を実施	総務部総務課

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献		○琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点の整備	・屋外テラスのイベント活用事業について、琵琶湖疏水記念館におけるコーヒーブース等の設置に向け、事業者と協議中 ・琵琶湖疏水記念館にて京都国際写真展「KYOTOGRAPIE」を開催(9/18～10/17) ・デジタル技術を活用した観光案内機能の充実、展示解説文の多言語・デジタル対応、修学旅行の誘致促進、記念館販売グッズの政策に向けた調査・サンプル製作、疏水フィールドツアーの実施に向け、京都市観光協会と実施内容を協議中 ・屋外スペースのイベント活用促進のための改修及び屋根・外壁の美装化、館内の快適性向上のための設備改修について、事業者と計画策定に向けて協議中	総務部総務課
			○国内外に向けた疏水の魅力PR ・幅広い誘客プロモーションを実施	・本件業務に係る随意契約相手方を選定し、契約を締結 ・誘客プロモーションとして、びわ湖疏水船秋運航のPRポスターを作成 ・びわ湖疏水船下り便の第3トンネル通過時の特別演出を検討・機材等準備 ・メディア及び関係者試乗会に向け調整を実施	総務部総務課
		琵琶湖疏水通船のプロモーション等	○見学ツアー等の事業実施 ・市内の小中学生を対象とした親子乗船の実施	・春運航分(定員435名)の参加者募集を実施(4月20日～5月10日、申込者数1,363名)したもの、コロナ禍により秋に延期 ・秋運航分(定員195名)の参加者募集を実施(8月19日～9月6日、申込者数1,607名) ※秋運航において、春運航分と合わせて実施(定員合計630名、10月30日～11月14日の土日祝日7日間)	総務部総務課
			○人材育成等の運営支援 ・琵琶湖疏水の魅力を伝えるガイド等の人材育成の実施	・本件業務に係る随意契約相手方を選定し、契約を締結	総務部総務課
		京都のまちなみ保全や景観の向上への寄与	○青空美術館等の取組の推進 ・西部1号・2号分流幹線(その2)公共下水道工事における「青空美術館」の実施	・工事仮囲いに掲載中。	水道部管理課 下水道建設事務所
②	創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献	温室効果ガス排出量削減のための取組の実施	○創エネルギー対策の実施 ・太陽光発電、小水力発電による再生可能エネルギーの利用	・局施設に設置した太陽光発電設備(14箇所)及び小水力発電設備(1箇所)の適切な管理を行うことにより機能を維持し、再生可能エネルギーを継続的に利用	技術監理室監理課
			○省エネ・高効率機器の採用、使用電力の削減 ・新山科浄水場2系ちんでん池設備更新(機械)工事(事業年度:2019～2021年度) ・鳥羽水環境保全センターG系反応タンク機械設備工事(事業年度:2020～2021年度)	・新山科浄水場2系ちんでん池設備更新(機械)工事について据付完了 ・鳥羽水環境保全センターG系反応タンク機械設備工事については撤去工事中	技術監理室監理課 水道部施設課 下水道部下水道建設事務所
		環境マネジメントシステム(EMS)の運用による環境負荷の低減と情報発信	○本庁舎、事業所、浄水場及び水環境保全センターにおける環境マネジメントシステムの継続的運用	・4つの環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、各EMSの実施計画に基づいた環境保全に資する取組の実施	技術監理室監理課
			○環境報告書の作成・発行	・環境報告書へ掲載するデータの時点修正及び紙面構成等の見直し作業中	技術監理室監理課
③	地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	下水汚泥の有効活用推進	○固形燃料の有効活用	・固形燃料を生成し火力発電所に有効利用中	下水道部施設課
			○消化ガスの汚泥焼却炉等への利用	・消化ガスを汚泥焼却炉等の燃料に活用中	下水道部施設課
			○脱水汚泥及び焼却灰のセメント原料への利用	・脱水汚泥及び焼却灰をセメント原料に活用中	下水道部施設課

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

取組		取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	将来にわたり 水道・下水道 を支え続ける 企業力の向上	○採用5年目までの職員を対象とした専門技術研修の実施	・専門技術研修の実施(8講座実施)	総務部企業力向上推進室
		○水道技術研修施設の運用 ・上下水道局職員の技術研修の実施 ・他都市事業体の視察・研修の受入	・上下水道局職員の技術研修の実施 ・日本水道協会京都府支部水道技術研修会を実施 ・府内市町村水道事業体初任者研修を実施 ・他都市事業体向けの研修を実施	水道部管理課
		○下水道技術研修施設の運用	・職員を対象とした技術研修を7月から実施。 開催回数:24回 受講者数:延べ209名	下水道部設計課, 管理課, 施設課
		○技術研修マネジメントシステムの運用	・「e-ラーニングサービス」の契約締結 (契約日:4月1日, 契約期間:4月1日～12月28日) ・「e-ラーニングサービス」を活用した研修の確認テストやアンケートを全専門技術研修で実施	総務部企業力向上推進室
		○「聴く力・受け止める力・伝える力」向上のための研修の実施	・お客さま対応研修の実施	総務部企業力向上推進室
	職員の意欲・能力を更に発揮できる活力ある組織風土の醸成	○キャリア形成支援, 人事交流等の推進 ・市長部局との交流, 国・他都市・他団体等への派遣の充実の検討・実施 ・民間企業派遣研修の実施	・民間企業派遣研修の実施に向けて調整中 ・市長部局との人事交流の実施 ・派遣先の拡充	総務部企業力向上推進室, 職員課
		○柔軟な働き方の仕組みの検討・構築 ・朝型勤務の実施 ・リモート勤務の実施 ・ペーパーレスの推進	・リモート勤務の継続実施 ・ペーパーレス会議システムの継続運用 ・作業計画に基づき, 各所属で書類の整理整頓作業を実施中 ・朝方勤務の実施	総務部職員課, 企業力向上推進室
		○若手職員の意欲向上を図る取組の実施 ・若手職員・グループ等の交流機会の創出 ・資格取得支援制度の利用促進	・庁内誌で職員グループの活動内容を紹介 ・新規採用職員研修で職員グループの活動報告を実施 ・新規採用職員研修で資格取得支援制度を紹介 ・資格取得支援制度を周知するとともに, 庁内誌に昨年度の合格者の声を掲載	総務部企業力向上推進室 経営戦略室
		○コンプライアンスの徹底を図る取組の実施 ・職員のコンプライアンスに対するより一層の意識向上を図るための研修等の実施 ・服務監察, 業務監察(内部統制制度を含む)の実施	・服務監察, 業務監察(内部統制制度を含む)の実施 ・課長級職員を対象に, 内部統制制度に係る研修を実施	総務部企業力向上推進室
		○水道・下水道の御利用等に係る情報発信 ・メーター点検訪問時の広報物(京の水だよりmini)配布等による水道・下水道のPR	・「京の水だよりmini Vol.10」を発行し, 全戸配布を開始(6月～7月検針時配布) ・「京の水だよりmini Vol.11」を発行し, 全戸配布を開始(8月～9月検針時配布)	総務部総務課
		○市民講座の検討・実施	・受託事業者と契約を締結 ・今年度の実施内容の企画検討を実施	総務部総務課 経営戦略室

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
②	京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携	市民・事業者の皆さまと一体となった事業推進	○市民・事業者による体験型研修施設の活用	・教員向け研修を8月2日に実施。 ・小学校の夏休み期間中に予定していた「すいど親子体験会」は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、延期とした。	水道部管理課
			○オープンデータの推進 ・ポータルサイト掲載済みデータの形式の見直し	・オープンデータ公開可能データ調査(局内照会)を実施した。 各所属へ照会(新規及び更新データの掲載、データ形式の見直し) 回答取りまとめ データの精査 データ掲載依頼	総務部総務課
			○公契約基本条例に基づく取組の推進 ・分離分割発注の推進など市内中小企業の受注等の機会の増大	以下の取組を継続して実施 ・分離分割が可能かどうか案件ごとに精査するとともに、市内中小企業のみで競争性が確保できるものは市内中小企業へ発注 ・対象となる公契約について、労働関係法令遵守状況報告書の提出を求める ・社会保険加入対策に係る取組 ・建物清掃等の役務業務の入札における最低制限価格の設定	総務部契約会計課
		関係団体と一体となった技術力の向上・技術継承の推進	○上下水道サービス協会の在り方の検討	・上下水道事業における技術力の向上等を図るための更なる連携のあり方について検討	経営戦略室

方針② ささえる

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
①	施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減	施設マネジメントの実践	○優先順位を踏まえた建設事業計画の作成・実施	・優先順位を踏まえて作成した建設事業計画に基づく、改築更新、耐震化の取組に向けた検討	経営戦略室 水道部管理課 下水道部計画課
			○庁舎長期修繕計画の運用	・水質管理センター水質第1課及び第2課の基本設計が概ね完了し、実施設計に向け調整を進めている。	技術監理室 監理課
②	業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化	業務執行体制の効率化及び活性化	○第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編、職員定数の削減(△14人)	・第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編・職員定数の削減(△14人)の実施。	総務部職員課
			○民間活力の導入の推進 ・下水汚泥固形燃料化炉の運転管理業務の委託	・令和3年度から、下水汚泥固形燃料化施設の維持管理・運営業務委託の開始しており、特にトラブル等なく順調に稼働している。	下水道部施設課
	ICT活用によるコスト削減	ICT活用によるコスト削減	○イントラ管理用サーバ群のサーバ仮想化の実施	・予定していたイントラ管理用サーバの仮想化は全て完了済	総務部総務課
			○業務システムに係る新たな技術導入に向けた調査・研究 ・RPA(※)の試験導入等の実施 ※ロボティクス・プロセス・オートメーションの略。 ロボットを使用して定型作業を自動化させる仕組み。 ・新庁舎における無線LAN環境整備	・RPAについて、令和2年度から試験導入対象の3業務中、RPA化した2業務が稼働中。残り1業務については業務分析(要件定義)を実施中。 ・無線LAN環境について、庁内LAN環境構築業務に関する委託契約を締結した。また、庁内LAN(無線を含む。)管理機器等の調達(競争入札)に向けた手続を開始した。	総務部総務課 技術監理室監理課

取組			取組内容及び目標	令和3年度上半期実施状況	担当課
③	将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化	長期的な財政目標達成に向けた財政基盤の強化	○積立金等のこれまでに確保した自己資金の活用による企業債残高の削減 ・(水道)建設改良積立金及び減債積立金19.0億円(プラン目標値)の確保(予算は16.6億円)、企業債残高△8億円の削減 ・(下水道)建設改良積立金31.8億円(プラン目標値)の確保(予算は28.0億円)、企業債残高△94億円の削減	・積立金等のこれまでに確保した自己資金を活用し、企業債残高を削減 (水道)建設改良積立金確保予定 17.9億円(対目標△1.1億円) 企業債残高削減予定 △8億円(目標どおり) (下水道)建設改良積立金確保予定 30.5億円(対目標△1.3億円) 企業債残高削減予定 △94億円(目標どおり)	経営戦略室
			○下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 ・建設改良積立金31.8億円(プラン目標値)の確保	・下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 建設改良積立金確保予定 30.5億円(対目標△1.3億円)	経営戦略室
			○企業債償還方法の見直し等による総支払利息の削減(以下、前年度予算比) ・(水道)支払利息△2.1億円の削減 ・(下水道)支払利息△5.4億円の削減	・企業債償還方法の見直しや、企業債残高の削減により、総支払利息を削減(以下、前年度予算比) (水道)支払利息削減予定 △3.1億円 (下水道)支払利息削減予定 △6.6億円	経営戦略室
	保有資産の有効活用をはじめとした増収策の検討・実施		○南北拠点整備に伴う空き施設の売却・貸付の更なる推進	・各空き施設の売却等に向けた境界確定等の商品化の準備を実施中	経営戦略室
			○保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進 ・保有資産の有効活用に向けた商品化(測量、境界確定等)	・各保有資産の売却等に向けた境界確定等の商品化の準備を実施中 ・「水道使用水量のお知らせ」裏面への広告掲載実施(第1期～第6期の広告掲載主決定済) ・ホームページバナー広告を継続実施	経営戦略室
			○水需要喚起策の実施及び新規施策の検討 ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進(再掲) ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進(再掲)	・「紙兎ロペ」とコラボレーションし、夏のお風呂入浴を推奨する動画を公開(7月30日～) ・ホームページによる情報発信(8月にコーナー設置) ・「京の水だよりmini Vol.11」に夏風呂特集を掲載(8月～9月検針時配布) ・フリーペーパー「Leaf mini京(まち)なか歩く(ぶっく)9月号」に夏風呂特集を掲載 ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進	総務部総務課
④	継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	継続的な経営改善と経営状況の情報発信の推進	○単年度事業計画の策定・実践及び進捗管理	・四半期ごとに進捗状況を確認している ・上半期の実施状況については、局HPで公表予定	経営戦略室
			○経営審議委員会等の意見を踏まえた経営評価制度の充実及び実施	・経営審議委員会の意見を聴取・反映し、9月に令和3年度経営評価(令和2年度事業)を作成・広報発表した。	経営戦略室
			○経営状況に係る情報発信 ・経営審議委員会の意見等を踏まえた経営評価冊子の作成及び公表 ・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表	・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表に向け、令和2年度決算概要資料を作成し、公表した。 ・検針時に配布する事業PRリーフレット(2期及び3期分)に経営情報を掲載	経営戦略室
		適正な料金・使用料体系・水準の検討	○水道施設維持負担金制度の運用	・事業者からの問合せに適宜対応するとともに、制度対象先の昨年度及び今年度の使用水量等の把握・分析を実施	経営戦略室
			○次期中期経営プラン期間における料金・使用料体系水準に係る検討	・料金・使用料制度に係る課題の抽出や分析を実施	経営戦略室